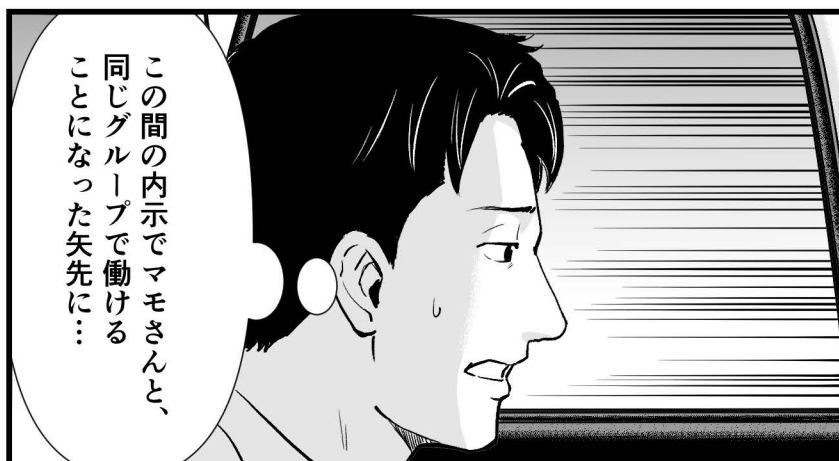
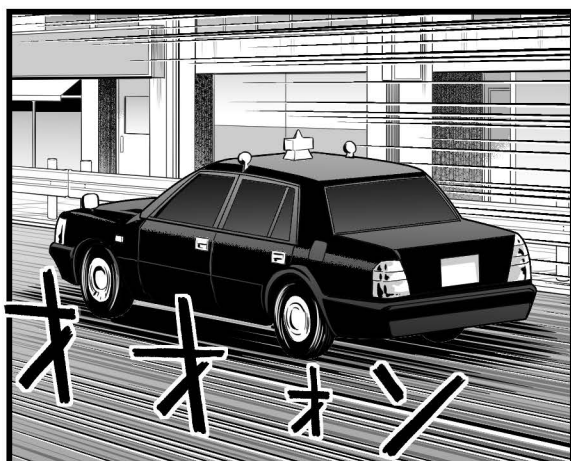
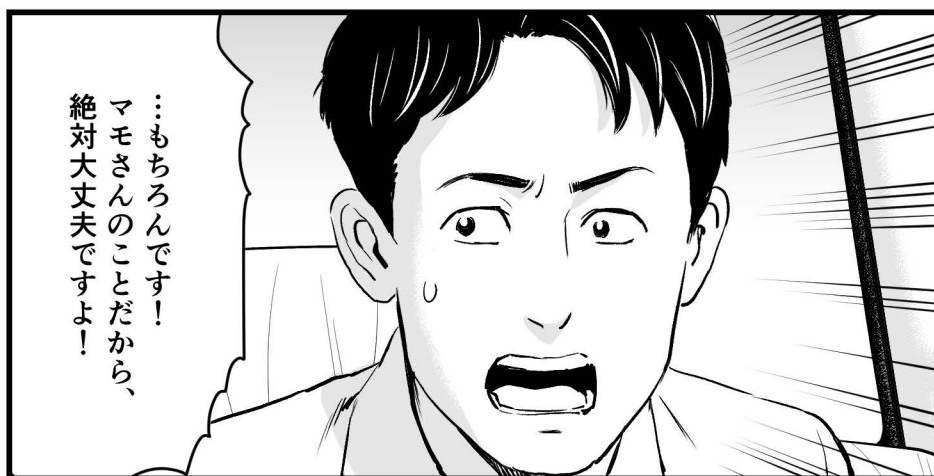
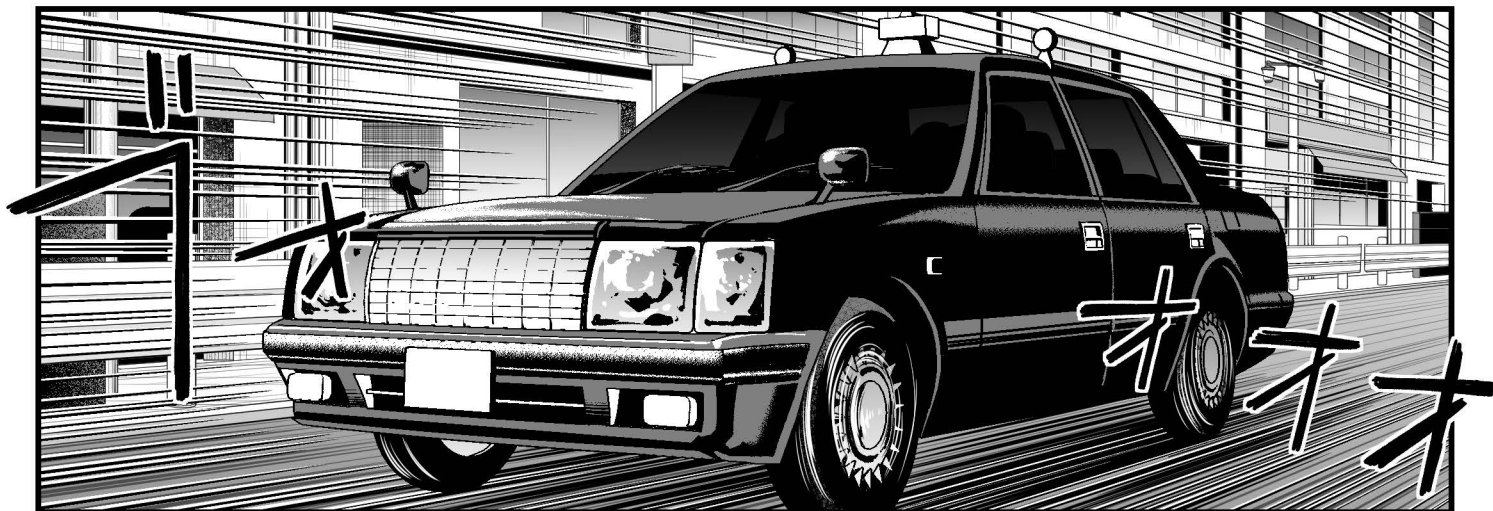
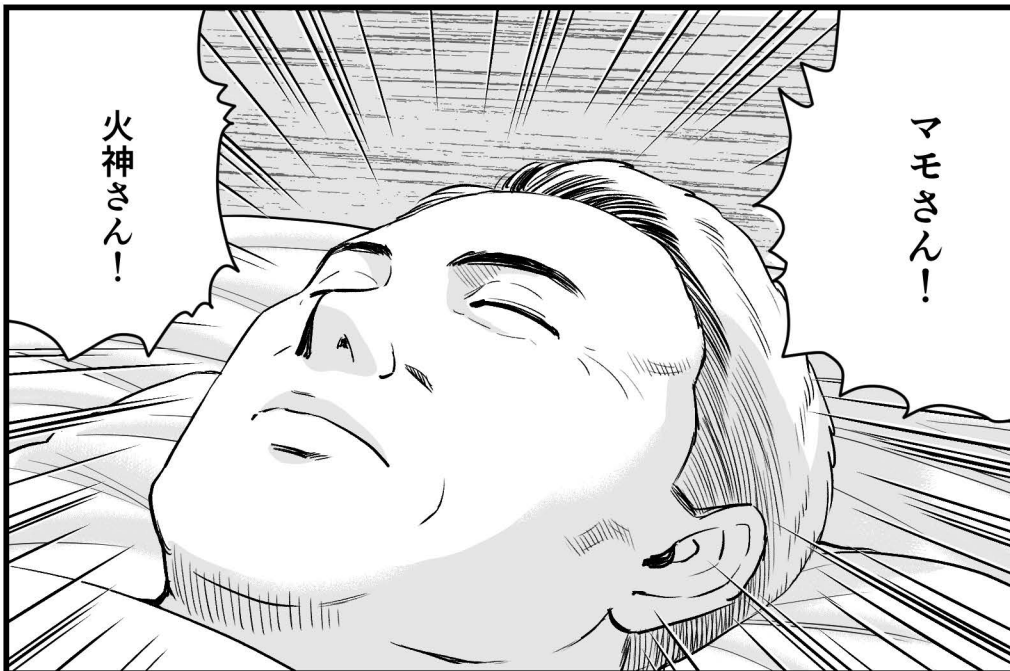
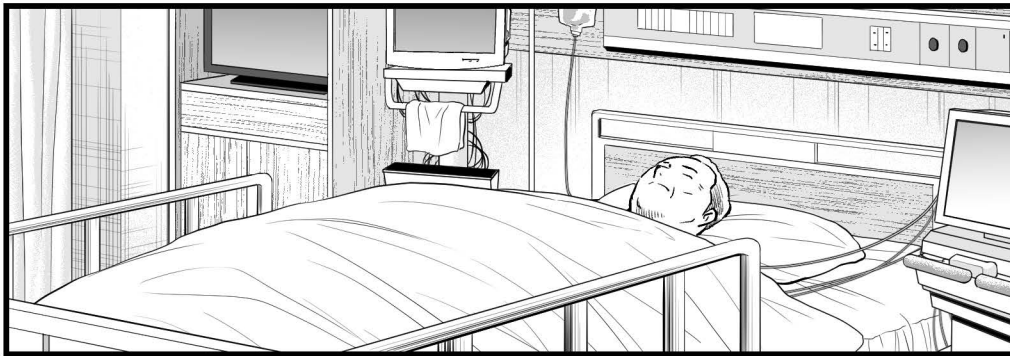
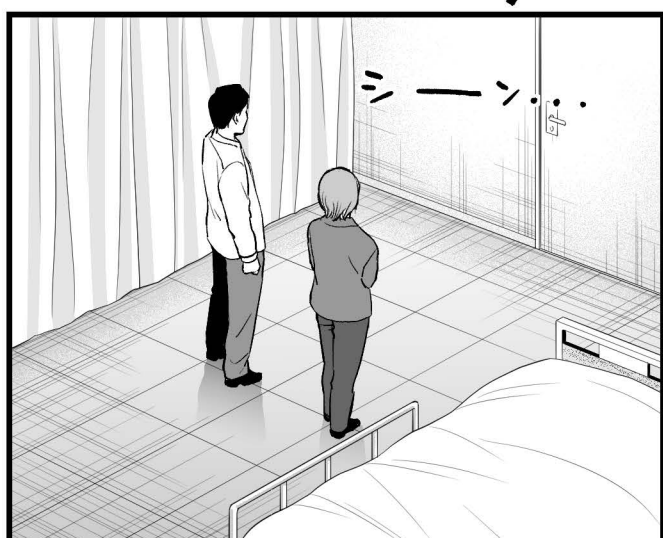
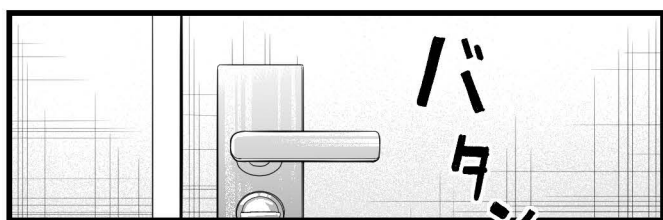
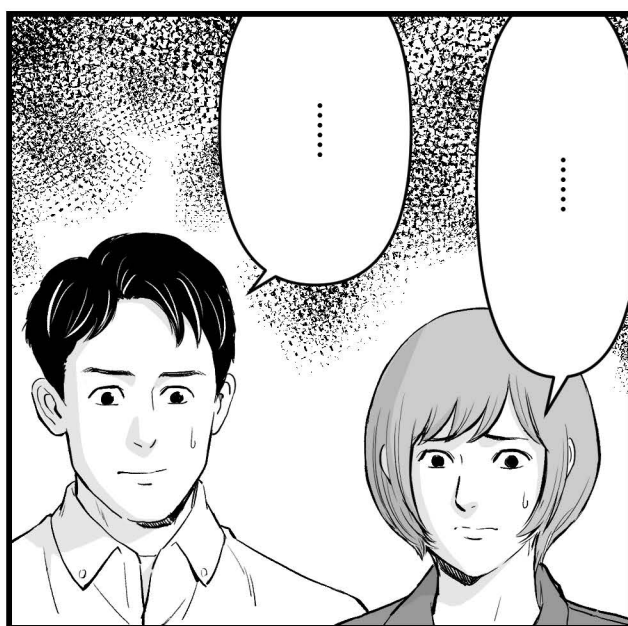


消えない灯^{ともしび}

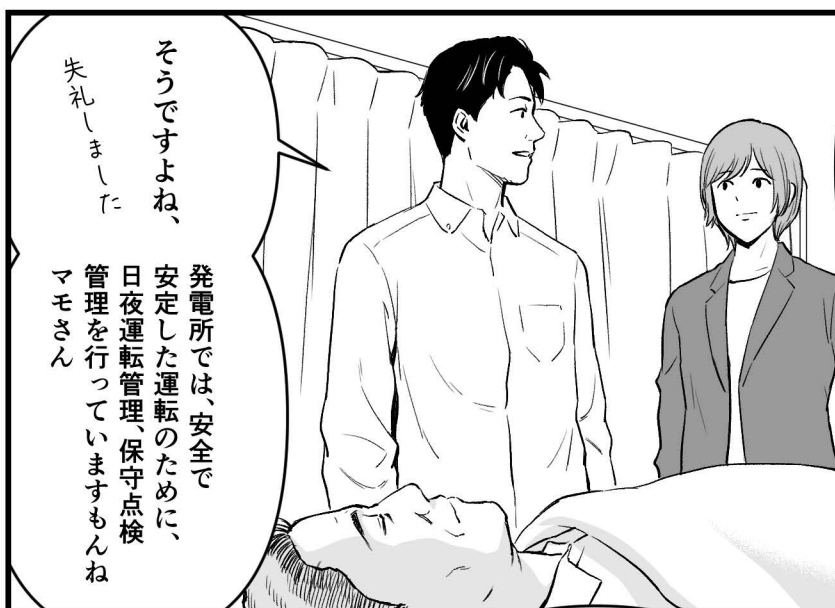












※ 『O&M3.0』2030年代に『こうなりたいな』という
将来像から逆算して必要なアクションや技術を洗い出して作られた

2030年代にこうなりたい
という将来像かあ
なんか夢のある未来を
創っていくのって素敵ね

ところでデータもココロも
繋がる発電所って？
どういうことだっけ？

そっか それが実現したら
社会の変化にもしなやかに
対応できるよね

成長し続けることが
できるってわけですよ

技術や情報をリアルタイムで
共有するんだそうです

そうして発電所で働くみんなが
心一つにして、スムーズな
業務連携を目指すんですよ

実現に向けた取り組みは既に始まっていて、
例えばこれまで人の五感で行っていた点検が――

人の五感による点検

視覚



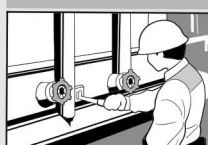
触覚



聴覚



嗅覚



ロボットによる点検自動化

サーモカメラ

可視光カメラ

ガスセンサー

集音マイク

AIを用いた設備の異常診断

異常診断



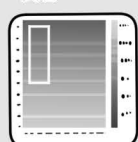
漏洩



温度

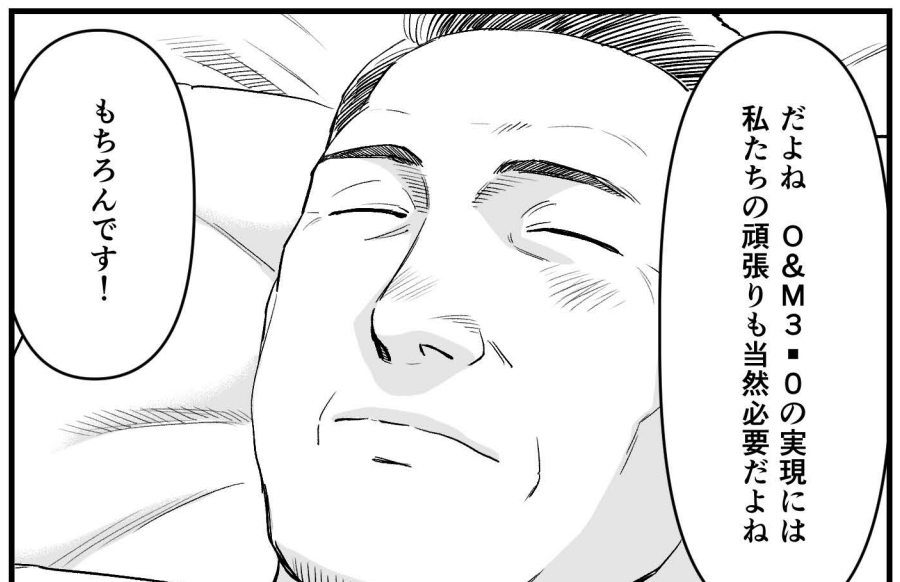
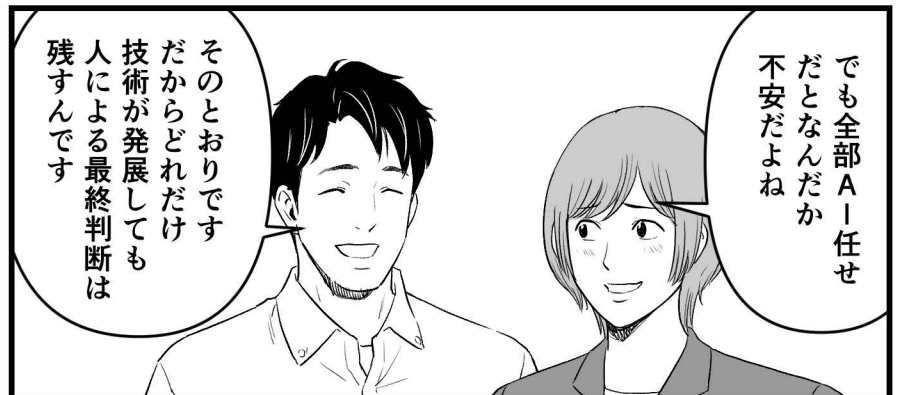
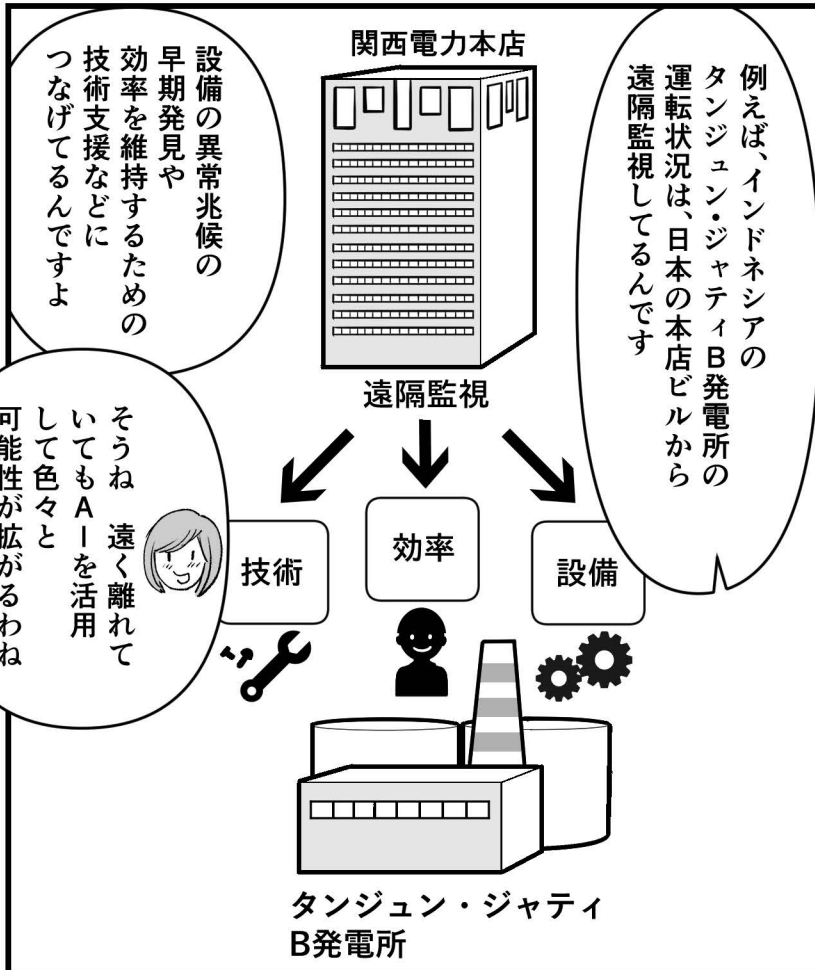


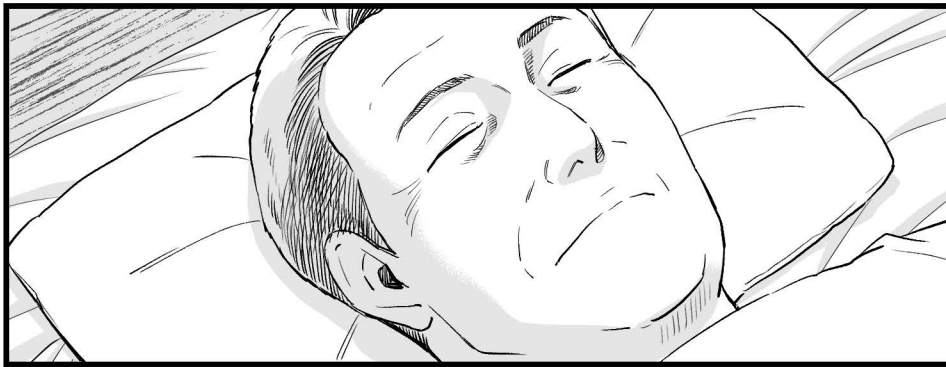
異音



おお！

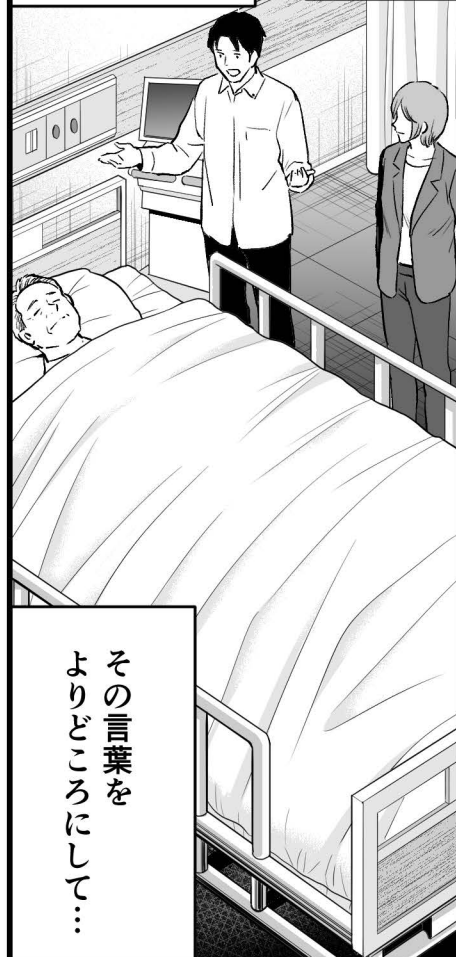
ロボットや
AIを
活用して、
こんな風
になるん
ですよ





ひたすら西は
火神に話した…

『仕事の話を
してくれたら
目を覚ますかも
しれません』

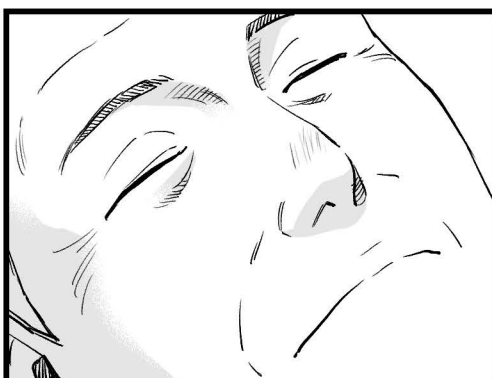


その言葉を
よりどころにして…

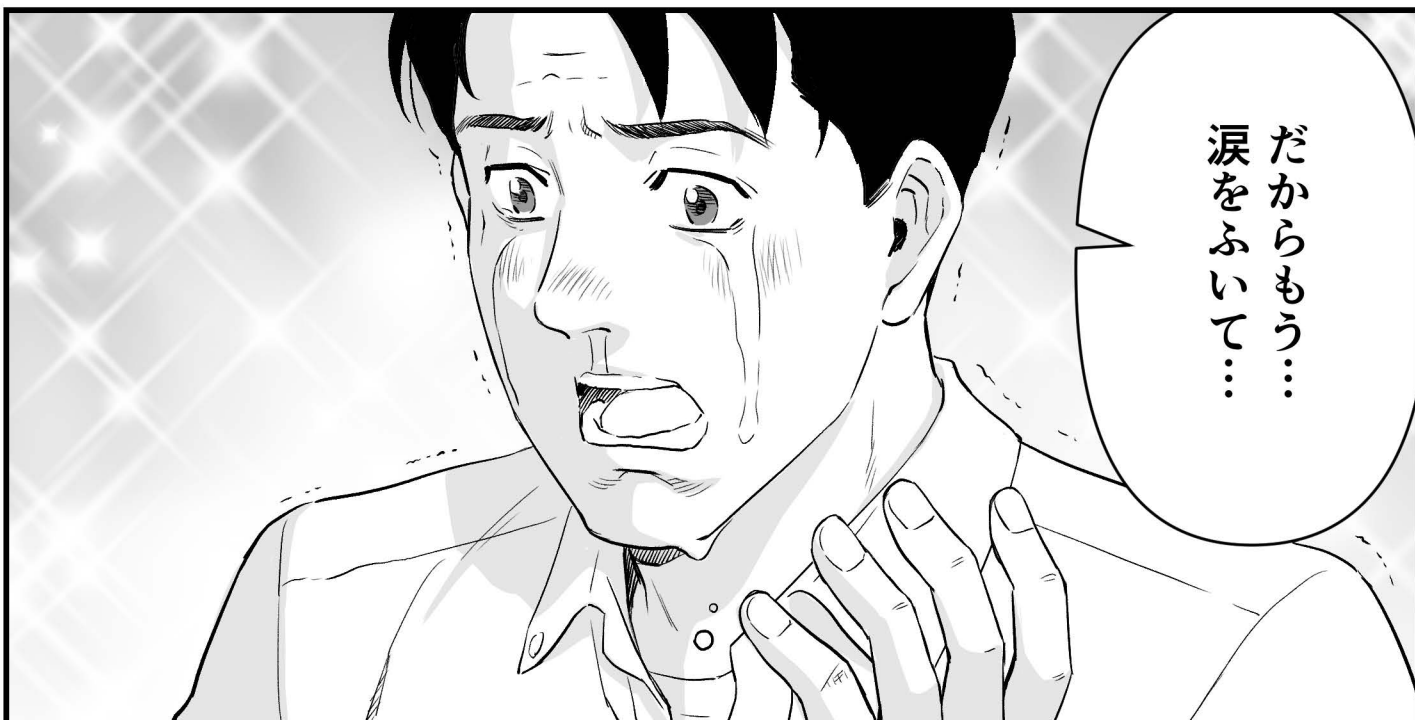
ただひたすら
勉強したことを
火神に話し続けた…

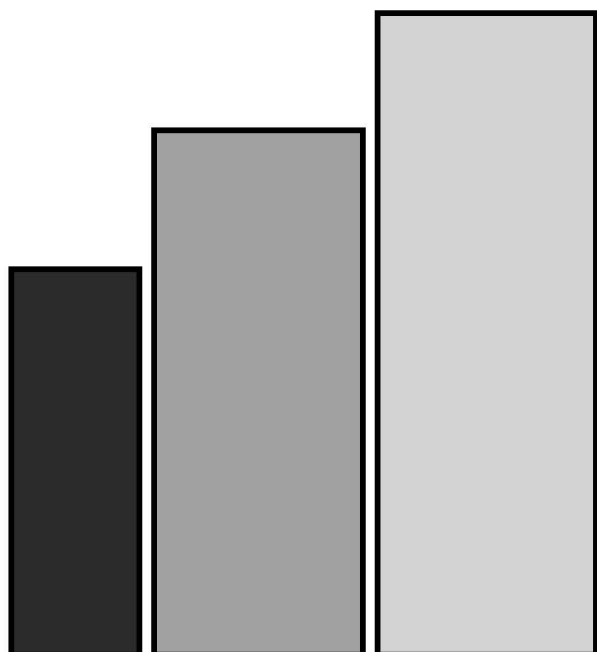


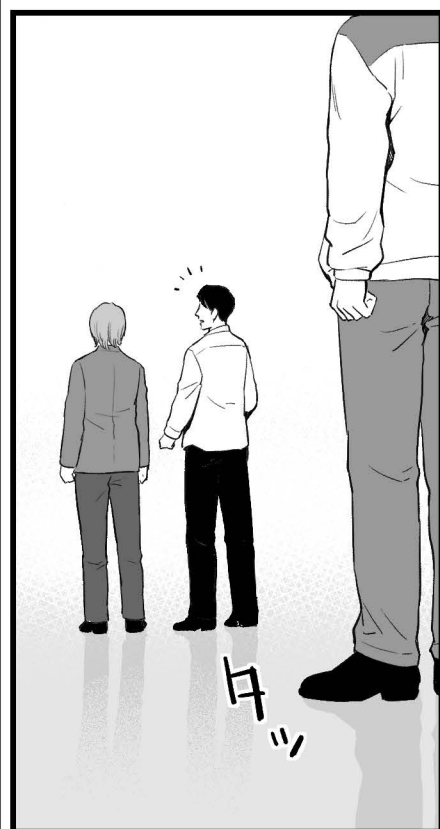
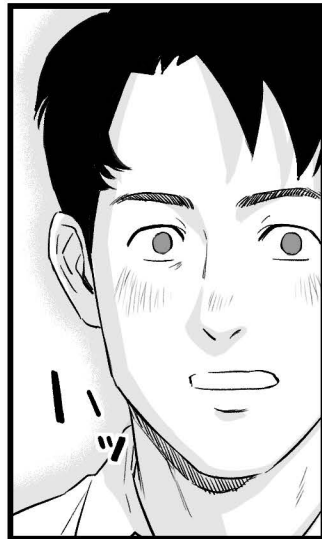
わかったわ 西君…
君の思いはわかった…



だからもう…
涙をふいて…







最終話に続く

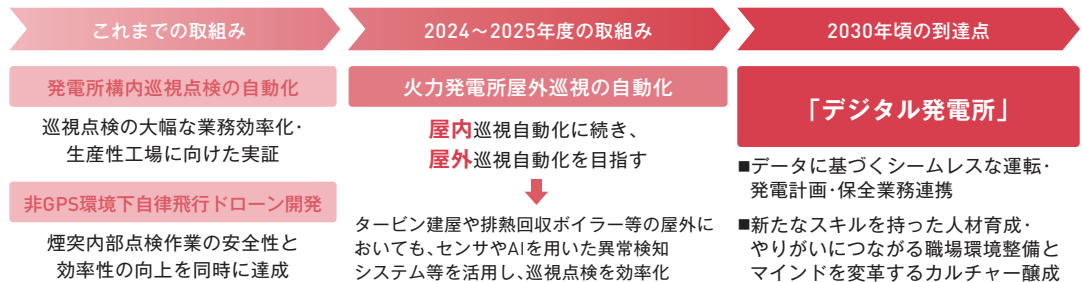
火力事業のDXの取組み

火力事業のDXに向けた取組みの流れ

・当社火力事業では、2000年3月に開始された電力小売自由化によってコスト構造が変わったことを契機に、火力発電所の運用保守（O&M）の考え方を見直し、ロボット、ドローンやAIなどのデジタル技術を活用した生産性向上に注力してきた。

・次世代の火力発電所においては、発電設備だけではなく、業務についても新たなテクノロジーを活用し、「新しい働き方」を実現したいとの思いから、火力部門の皆が一つの方向を向いて変革に邁進していく道しるべを作成するべく「BVC2030」*というプロジェクトを2023年3月からスタートした。同年6月に将来ビジョンとして「O&M3.0～データもココロも繋がる発電所～」を策定し、その実現に向けて活動している。

*2030年代に向け、既存の概念を“壊し”（Break）新たな“ビジョン”（Vision）を創造し変革に“挑戦”（Challenge）するプロジェクト。社内外の火力従事者30名程度がプロジェクトメンバーとして活動している。



「O&M3.0」とは

・2030年代に『こうなっていきたい』という将来像から逆算した、火力のO&Mビジョン。

・2000年頃の電力自由化によるO&Mの考え方の変化を「O&M2.0」への転換期と捉え、さらに次の時代の変革に向けた目指すべき発電所O&Mの姿として「O&M3.0」を策定。「リアルタイムで需給・発電計画・燃料在庫が調整された発電所稼働」、「AIによる工事プラン提案や工事書類の自動生成」など、9つのO&M業務群におけるビジョンを整理し、推進している。

O&M3.0の実現イメージ



- | | | |
|---|--|--|
| A リアルタイムで需給・発電計画・燃料在庫が調整された発電所稼働 | B 設備健全性評価の精度向上と保全基準の最適化 | C 多様な働き方を後押しするデジタル化された遠隔運転・巡視と、重大事故を未然に防ぐ高精度な予兆管理 |
| D AIによる工事プラン提案と法令チェックも含めた工事書類の自動生成 | E 社内のアセットと連動した工事力・資材確保 | F データを活用した適切な遠隔実施・工事進捗管理 |
| G 社員の人事情報の見える化による人材配置・育成・採用プランの改善 | H 人材確保と従業員のやりがいに繋がる職場環境・カルチャー醸成・制度・コンテンツの整備 | I 地域との共生 |